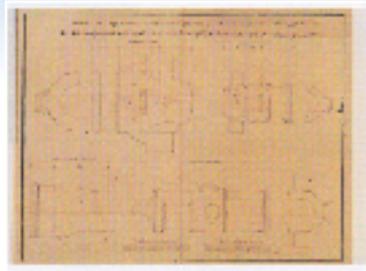


武雄市の文化財

今回は、武雄市内にある指定文化財のうち、歴史資料について紹介します。指定をうけている歴史資料として、市指定が4件あります。

「大砲等設計図及び切形」は武雄鍋島家に保管されていたもので、大砲や銃、旋盤などの設計図（65点）と切形（15点）などがあります。設計図には、オランダ語と日本語の両方の文字で説明書が付けられているものもあり、当時の研究の様子がうかがえます。



大砲設計図

この他にも切形（型紙のようなもの）や拓本、大砲の台車絵図、砲術や試打に関する文書類など多数あります。これらの資料は、武雄領が近代科学導入を積極的に行なっていたことを物語るもので大変貴重なものです。

「地球儀」及び「天球儀」は、オランダのアムステルダム、ファルク工場で作されたものです。銘より1745年に作られたことがわかります。箱書きから天保15年（1844年）に、「地球儀」「天球儀」を一对で輸入したものと考えられています。ファルク工房製の「地球儀」「天球儀」の



地球儀と天球儀

セットは、国内では武雄の他には1例しか確認されていません。

「有馬之戦役戦死者慰霊碑」は円応寺にある島原の乱後二百年忌を記念した供養碑で、

天保7年（1836年）に建立されています。碑には、建立された経緯と戦死者の名前が刻まれています。有馬之役とは、寛永14～15年（1637～1638年）に島藩と唐津領天草の農民が天草四郎を首領に起こした一揆で、一般的には島原の乱といえます。この一揆の鎮圧に、武雄領からも第二十一代領主鍋島茂綱とその子茂和が参戦しています。原城での攻防はすさまじく、武雄の戦死者は56名を数えました。この慰霊碑は、島原の乱のすさまじさを伝える貴重な歴史遺産です。



有馬之戦役戦死者慰霊碑

武雄市図書館

歴史資料館だより



『平成19年度 古文書講座』の開催

今年も武雄市図書館・歴史資料館では、古文書講座を開催します。初心者を対象とした講座で、古文書に親しみ、そこからうかがえる郷土の歴史について学んでいきます。古文書に興味がある人はぜひご参加ください。

日時

9月中旬から土・日曜日を
中心に月2回程度

場所

午後2時～午後4時まで
武雄市図書館・歴史資料館
メディアホール

受講料

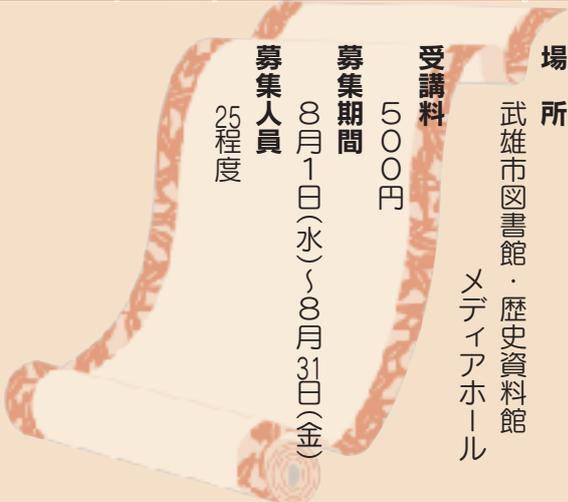
500円

募集期間

8月1日(水)～8月31日(金)

募集人員

25程度



人の動き



総人口	52,141人
男	24,686人
女	27,455人
世帯数	16,842世帯

武雄町	16,011人(+132)
橘	2,853人(-3)
朝日町	5,686人(-28)
若木町	1,991人(-33)
武内町	2,720人(-31)

東川登町	2,652人(-43)
西川登町	2,218人(-18)
山内町	9,571人(-9)
北方町	8,447人(-150)

()は平成18年6月末日との増減



平成19年6月末日現在